

法人（事業所理念）		発達に特徴のある子供たちが抱えている生活のしずらさや集団へのなじみにくさ、学習のしずらさ等に対しどこにまずまっているのか？何に困っているのか？を一緒に考えながら抱えている問題を軽減できるように個別・集団において一人一人の児童にあった支援を行います。		
支援方針		児童一人一人に向き合い、しっかりと児童の特性や個性をとらえ、児童にあった声掛けや支援を行う		
営業時間1		8時30分から18時00分まで	送迎実施の有無	あり
支援内容				
本人支援	健康・生活	37.5度以上の発熱の際には、保護者に連絡し対応する 来園の準備（まずやる事）を先に行うように声掛けし最終自分で出来るようにしている。 課題の最初には皆で集まり、最後には振り返りを行って最初と最後を明確にしている		
	運動・感覚	低学年までは感覚統合・高学年には運動を取り入れています。 まず土台となる固有覚・前庭覚・触覚を用いた活動を取り入れています。		
	認知・行動	自由遊びの中で見られた問題や、家庭や学校での困りごとを題材にしSSTを行っています。 机上やロールプレイを取り入れてより実感しやすいように行っています		
	言語・コミュニケーション	話しかけ方や、言い方を活動を通して練習しています。また他児とのかかわり方を誤学習している児童に対し受け入れられやすいかかわり方の練習を行っています		
	人間関係・社会性	自由遊びの中で児童の他児とのかかわり方や過ごし方を観察し課題に取り入れています。 課題を通して、遊びのルール、他児と関わる為の暗黙のルール、待つこと等の練習を行っています		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回面談を実施し、困りごとや今後についての話し合いを行っています ・困りごとがある場合はその都度お聞きし対応させていただいています 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて支援会議や書面での情報共有・提供を行っています 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議に参加し関係機関での情報共有を行っています。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日情報共有をし全職員が利用者児童に対し同様の支援が出来るように努めています。また職員個々の個性を生かした支援を行っています。 ・時間を作って勉強会を行っています。 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にお世話になっている活動。田植え、ブルーベリー狩り、稲刈り・脱穀、柿狩り、凧あげ 			